

～ All for one, One for all. ～



# 光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設  
東京光の家会報

— 230 号 —

2025 年 1 月 1 日 発行

このように、わたしたちは与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っているので、もし、それが預言であれば、信仰の程度に応じて預言をし、奉仕であれば奉仕をし、また教える者であれば教え、勧めをする者であれば勧め、寄附する者は惜しみなく寄附し、指導する者は熱心に指導し、慈善をする者は快く慈善をすべきである。

ローマ人への手紙

第二章 六節～八節



2025年元旦 光の家のおせち料理

旧年中は当法人の社会福祉事業に対する格別なるご支援に、深く感謝しております。

光の家ワークプレイ・センターの改修工事は順調に進んでおります。利用者の活動の場を広げると同時に地域交流の場としても活用する計画ですので是非楽しみに完成をお待ちください。

また、昭和四十九年七月に就労型障害者支援施設として現在の光の家栄光園が開設されてから五十年が経ちました。この大きな節目を迎えることが出来たのも皆様の多大なるご支援ご協力があつてこそであり、心より感謝申し上げます。これからも光の家利用者一人ひとりの幸せと地域共生社会の実現を目指して役員一同努力して参ります。皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

理事長 石渡健太郎

# 栄光園開設五十年に感謝

東京光の家評議員・元光の家栄光園施設長

加藤保武



栄光園開設五十周年おめでとうございます。私は昭和四十九年（開設）から三十五年間勤務しましたが当時の旭が丘更生園（現栄光園）が半世紀を経て、開設当時と同様、今もここに利用者と職員が共に働き、歴史を刻んでいることを思いますと深い感慨と感謝を覚えます。

開設に至る経緯は各記念誌等に度々書かれている通り、故田中亮治理事長が若き日の海外研修で盲人が働く姿に大きな感銘を受け、これを自分の使命と考え、幾多の困難を乗り越え誕生したのはご存知の通りであります。しかしその背景としては当時の光の家の多くの利用者たちは食べるだけでは満

たされない、社会と繋がる働くことへの渴望があったことも事実でした。当時は既に救護施設内に点字出版部と第一作業、第二作業がありました。これらは働くことを中心に据えた場所とは言い難く専門の働く施設が待望されていた。

開設当時の懐かしい利用者の顔を思い出しますと、当時の彼らは戦地から生還された方、激動の戦中戦後、その過程で失明された方等、過酷な体験を経て光の家に辿り着いた方々が浮かびます。これらの利用者の願いは、「目が見えなくとも自分たちにも仕事の場所を！」との声でした。それは働くことを通して社会と繋がりたい、人の役にたち、賃金も得たいなどと、当然の願いを持っていた人達でもあったと言えます。

開設時、私たち職員はこの新しい施設で利用者が如何にしたら働く喜びを共有できるか、様々な試みをし、成果も得ましたが多くの失敗も経験しました。働く場で

は「製造の手順、納期、不良品を作らず」等々、製造業の常識も取り入れ、単に利用者が職員の指示通り、受け身で仕事を行うのではないよう考えました。これらの働きもあって作業場の空気が当初から良い意味での緊張感があったように思います。またこの結果は各作業係のミーティングの際、自分の担当する仕事について利用者自身が嬉々として工夫や苦勞を語るのを聞いて、この試みが根付いていることを実感しました。

ところで平成八年度、施設名が光の家栄光園となりましたが、その経緯は施設長会で来年度から施設名を光の家○○園という形に統一しようと思いましたが、この時、既に救護施設は光の家神愛園という名が考えられていて、新生園は光の家新生園で決まり。旭が丘更生園だけが決まっておらず次回まで考えてくるよう言われ、私は聖書を開いて○○園、△△園と二つを考えました。しかし良い名前が思いつかず、困った結果、聖書には「神の栄光」と度々出てきますので、三つ目に栄光園をつけ加えて施設長会に臨みました。私は自身は栄光園などとはちよつと照れくさい気もして、別の名を考え

てもらうつもりでした。ところが私の二つの候補は全くダメで、栄光園については田中のぞみ園長が「それがいいじゃない！」と言われ、私はびつくりしましたが田中理事長も「そうするか！」と言われあっさり決まってしまうので、すから名付け親はのぞみ園長であると今も思っています。栄光園の名は暫くの間、少々照れくさいなどと皆で話していましたが、今では光の家栄光園は最良の名前であると私も確信しています。

光の家は昔から利用者の生活の中に様々な働く場を考えてきましたが、それは利用者も職員も神様から戴いた賜物、能力（ローマ人への手紙十二章六、八）を、この光の家の生活を通じて開花させるということこそ最も大切なことという考えにあると言えるでしょう。だから仕事を通じて利用者の能力開発を図ることこそ職員の使命であり、やりがいであることと私は信じています。あと数年で新作業棟の稼働が実現しようとしてくる次なる時代は、また五十年前とは違った難しい課題に直面していると思いますが、そこに向かって職員と利用者の皆さんの健闘を祈っています。

てもらうつもりでした。ところが私の二つの候補は全くダメで、栄光園については田中のぞみ園長が「それがいいじゃない！」と言われ、私はびつくりしましたが田中理事長も「そうするか！」と言われあっさり決まってしまうので、すから名付け親はのぞみ園長であると今も思っています。栄光園の名は暫くの間、少々照れくさいなどと皆で話していましたが、今では光の家栄光園は最良の名前であると私も確信しています。



第1部「礼拝」月本先生講話

やっと訪れた本格的な冬の寒さの中、今年も光の家のクリスマスが開催されました。



第2部「会食」講堂

第一部礼拝では、今年も月本昭男先生に記念講演をいただきました。今年のテーマはディケンズの「クリスマス・キャロル」。物語の主人公スクルージになぞらえ、私達は聖書のイエスと出会う事で自分の不完全さを知り、誰かの為に生きる新しい道を与えられる事を優しい言葉で語って頂きました。



第2部「会食」クリスマス料理

第二部は会食。今年も利用者の皆さんから要望が多い骨付きチキンをメインに、デザートに至るまで手の込んだメニューが食事課から提供されました。「来年もまた食べたい」という声も多く、楽しい時間となりました。



第3部「祝会」聖歌隊



第3部「祝会」栄光園演劇 存在讃歌

第三部は祝会。最初に聖歌隊が二曲を発表しました。秋からの練習の成果が発揮され、笑顔いっぱいであうその姿に、会場中も幸せになりました。

プログラムの最後は栄光園による演劇『存在讃歌』。障害者が生きる世界に「神の意志をみる」と語られたその力強い言葉に、会場中から惜しみない拍手が送られました。

多くの言葉に触れたクリスマス

ス。今年も無事に光の家で主のご降誕を祝う時を持ってました事に感謝いたします。

クリスマス委員長 塚田光子

新生園

一泊旅行

日 時…二班…十一月十三日(水)～十四日(木)  
二班…十一月二十日(水)～二十一日(木)  
行き先…群馬県伊香保方面

紅葉で野山が色とりどりに染まる頃、伊香保温泉へ旅行に行ってきました。

初日は、いちご狩りを楽しみました。秋の果物狩りのイメージは、ぶどうやりんご、ミカンを想像する方も多いと思いますが、いちごも十一月から収穫できるとのこと、甘くて、香りの強い品種のいちごを皆さんで堪能してきました。大ぶりのいちごを口に運べば、甘さが一気に伝わって、何個でも食べられ



名所「伊香保温泉」の石段



いちご狩りやったよ～♪

そんな幸せな時間でした。夜は「伊香保温泉」の石段街を散歩し、名湯にゆっくりと浸かるなど、温泉郷ならではの楽しみ方をして過ごしました。

翌日は道の駅日本一に選ばれたこともある川場田園プラザで群馬名物のお土産をたくさん購入して帰路に着きました。秋晴れにも恵まれ、ゆったりと過ごすことができた旅行となりました。

就労一

豊洲市場とチームラボ  
でエンジョイ!

日 時…十一月七日(木)  
行き先…豊洲市場・チームラボ

十一月七日、からっとした秋晴れの中、就労ホームの皆で豊洲市場とチームラボへ日帰り旅行に行ってきました。

豊洲市場に到着後、全員で写真撮影をしてから、班ごとに昼食を堪能! 海鮮丼やお寿司を中心に好きなものを食べてお腹を満腹にして、昼食後は千客万来でお土産を購入したり喫茶店でスイーツを食べて楽しい時間を過ごしました。



豊洲市場でピース!!



幻想的な光ファンタジー♪ (チームラボ)

そして、本日のメイン目的地チームラボに行きました。ランプが人を認識して光り、それに呼応して他のランプも規則に沿って輝き無数にあるランプが順番に光り出す光景に利用者・職員共に圧倒されました。コロナ禍ではなかなか外出が出来ませんでしたがつっかたなと感じました。楽しい時間を活気に、また皆で仕事に励みたいと思います。

栄光園

日帰り旅行

日時：令和六年十一月十四日  
行き先：静岡伊豆



アイス作り楽しいなあ〜♪

今年度栄光園は、開設五十周年を記念して、日帰り旅行を実施しました。今回は、静岡の伊豆方面でバーベキューとアイス作り体験、買い物を楽しみました。特別な企画として利用者もいつもより参加者が多く、交流の場となったと思います。天候は曇り時々雨でしたが、気温は高く過ごしやすい一日でした。施設を出発したバスは、圏央

道を経由して、伊豆オラツチエに到着。昼食は豪華に1.5人前の牛肉や豚肉にお野菜、おにぎりでバーベキューと、熱々焼きたての食事を満喫しました。次にアイスづくり体験。卵と砂糖、牛乳と生クリームを混ぜ、冷たい容器の中で更に空気を取り込みながらかき混ぜます。かき混ぜる速さや方向で味が違い、他のグループのアイスと味比べをしました。ふわふわのなめらかな味やクリーム感が強い味、本当に様々で、作って楽しい食べておいしい、素敵な体験となりました。

最後に伊豆パノラマパークでは、お土産を購入したりゴンドラに乗って頂上に登ったりとそれぞれ思い思いの旅行を楽しみました。普段の日帰り旅行では味わえない特別な一日となり、日ごろの作業で頑張っている利用者には良い気分転換とコミュニケーションの機会となりました。

新生園

フードフェス

日時：十一月十三日(水)  
十一月二十日(水)



メチャ!! おいし〜い!!

「食欲の秋」を実現したような行事「フードフェス」が、調理師の方の協力のもと、揚げ立て、焼き立てで利用者の方に提供されました。

今年の目玉は、「お寿司」。マグロ、イクラ、エビ、鯛など品数も豊富で、握りたてのお寿司を皆さんで心ゆくまで堪能しました。利用者からは「美味しくて、お腹いっぱい」との意見があり、調理師の方へ感謝の気持ちをお伝えしていました。



地域合同防災訓練

日時：令和六年十月二十四日(木)  
於：旭が丘東公園他



地域相互応援協定先の皆さん

地域相互応援協定に基づく地域との合同防災訓練が行われました。当日は光の家の災害時相互応援協定先である地元の三自治会（旭が丘一丁目第一自治会、旭が丘一丁目第二自治会、旭が丘一丁目富士見会自治会）、(株)GEヘルスケアジャパン様、(株)トッパンメデイアプリンテック東京様に加え、特別養護老人ホーム花子様、日野青い鳥福祉会様のご参加をいただきました。

利用者の声

# 新年の抱負



**新生園**  
**友達と仲良くして  
 訓練も頑張ります**  
 鈴木 夢空

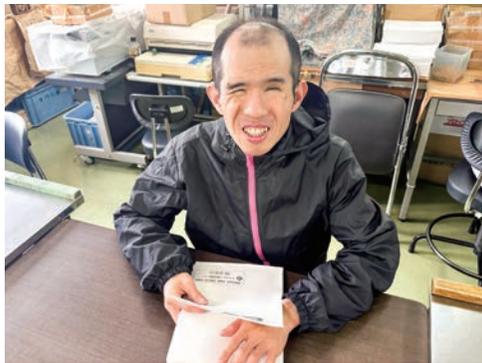
**栄光園**  
**健康に  
 過ごしたいです!**  
 石井 正也

**神愛園**  
**病気に負けず  
 元気に過ごします!**  
 石井 正子

**就労ホーム**  
**楽しい就労ホーム**  
 森安 美月



手芸の組み紐やってま〜す♪



点字作業頑張ってます♪



作業楽しいで〜す♪



お掃除上手で〜す♪

私は新生園に入所して四年になります。今年の目標は「落ち着いて訓練に参加して、友達と仲良く過ごすこと」です。今は手芸や体育、歩行を頑張っています。特に手芸では組み紐をやっています。また外出することも好きです。行事でいろいろなところに行きたいです。

私は今年度、新生園から栄光園に移り、二係に所属しています。主に点字印刷の作業に携わって頑張っています。今年は、運動も頑張つて、健康に過ごしたいです。お皿洗いも頑張りたいです。これからも、色々なことにチャレンジしていきます!

昨年は入院をしていた時期もあり大変な一年を過ごしましたが、現在はハリハビリも頑張つて元気になり、また作業にも参加が出来るようになりました。今は手を動かしながら和紙作業を頑張っています。今年は病気に負けずに元気に一年を過ごすことを目標に頑張つていきたいと思えます。

私は、昨年の六月九日で二十歳になりました。今、就労ホームでは、二階でダイレクトメール、カンパでモップかけやお盆ふきをやっています。今年は、みんなと協力して商工会館清掃をやりたいです。そのために、掃除を上手にできるようにがんばりたいです。これからも楽しく就労ホームに通いたいです。



お掃除！お掃除！

私はお掃除を頑張っています。棚拭きや埃取り、コロコロなど細かい所までしっかりとやっています。きれいなお部屋だと気持ち良く生活できます。お風呂掃除もおうちです。お風呂掃除もおうちでもやるようになりました。これからは、おうちやキッチンで食器洗いもやっているのでグループホームでも挑戦していきたいです。

グループホーム

食器洗いも頑張ります

渡邊 実佳



マッサージに来て下さい♪

昨年から患者さんに取り入れている、痛みの所に指を当てながら痛みを和らげる運動療法を今年もつと究めていきます。また、春からは光の家ワーク・プレイセンタにマッサージホーム分院が出来ます。ホームに来る前の私は接骨院に長く勤めていたので、以前の経験をフルに活かして、新規の患者さんを沢山獲得出来るように、皆と一緒に頑張っていきます。

マッサージホーム

皆と一緒に

山田 実

光の家鍼灸 マッサージホーム

真心をこめた施術で、皆さまの健康に奉仕させて頂きます。

受付時間 (電話予約制)  
午前九時～午後七時半

定休日 毎週水曜日

電話 ○四二(五八二)七二〇九

料金  
はり マッサージ 四、〇〇〇円  
三〇分 二、五〇〇円  
七〇分 三、八〇〇円  
一〇〇分 五、〇〇〇円

毎月1日はサービスデー 500円割引

光の家ワーク・プレイセンター 完成予想図

竣工 令和7年5月予定

※紙面の写真は、すべての本人の許可を得て掲載させて頂きました。

寄付者名簿

令和六年十月二十五日  
令和六年十二月十日

鴨下 義雄	柿	六八個
小園江 春代	さつまいも	五五kg
阿久津 隆様	柿	一七七個
井川 幸雄	りんご	二〇〇個
佐藤 幸則	りんご	一二五個
渡辺 孝子	鮭	二〇〇切
青木 信利	りんご	一〇kg
石川 紀子	りんご	六四個



日野大坪市長（左端）も参加した点火式の様子



光の家「ひまわり」の演奏

東京光の家がある日野市旭が丘。童謡「たきび」の作詞者の異聖歌が日野市旭が丘で晩年を過ごしたことにちなんで開催されている「たきび祭」。地元旭が丘の商工連主催で、出し物や食べ物など、多くの人で賑わう地元密着イベントです。東京光の家では「ひまわり」

の演奏や綿菓子、フランクフルト、チュロスの販売と併せて「牛乳パック紙漉き体験」を行って参加をして、食べる事も体験する事も喜んで頂きました。また、利用者も販売に参加して地域の方たちとの繋がりを持てるとても意義のあるイベントです。



光の家SDGs活動「人や国の不平等をなくそう」

# たきび祭

令和六年十二月七日(土)  
場所・旭が丘中央公園



ソフトボール投げ

今年度は栄光園の斎藤吾朗さんが東京都の代表として全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に出場しました。砲丸投げとソフトボール投げに出場し、砲丸投げは七m六十三cm、ソフトボール投げは三十四m六十二cmの記録で、ともに銅メダルを獲得しました。代表に選出されてから真夏の中、四回の合同練習があり、ソフトボール投げでは四十m以上の記録を出していました。本人としては練習通りにいかず悔しい結果となり

**SAGA2024**

## 全国障害者スポーツ大会

期間：十月二十六日(土)～十月二十八日(月) 開催地：佐賀



銅メダルおめでとう!!

ましたが、大勢の方からの応援や他の選手との交流等、貴重な経験をすることができて、また出場したいという気持ちが強くなったそうです。すでに今回の悔しさと再出場の気持ちをおバネに連続出場ができていたため、二年後の青森大会に向けて、トレーニングや食事管理に精力的に取り組まれています。

発行 〒一九一〇〇六五  
 東京都日野市旭が丘一七七一  
 社会福祉法人 東京光の家  
 電話 〇四二(五八二)二三四〇  
 FAX 〇四二(五八二)九五六八